

北九州市公共事業評価に関する検討会議及び 市民意見を踏まえた市の対応方針

事業名	ボートレース若松施設整備事業
-----	----------------

北九州市

令和3年9月

公共事業評価に関する検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針

(対象事業：ボートレース若松施設整備事業)

【対応方針】

事業実施に向けた準備を継続することとし、事業内容がより具体化された後に、事前評価2を行うこととする。

【対応方針決定の理由】

ボートレース事業は、地方財政の改善を図ることなどを目的に、モーターボート競走法に基づき実施されている。

本市のボートレース事業であるボートレース若松は、独立採算で特別会計を設けて実施し、その収益の一部を一般会計へ繰り出している。

この一般会計繰出金は、本市の市民生活の充実・利便性の向上等に寄与しており、今後とも安定的かつ継続的な確保が求められている。

また、平成30年4月からは地方公営企業法を適用するなど、更なる経営の強化を図りながら事業を実施しているところである。

今回検討している「ボートレース若松施設整備事業」は、主に、築25年以上が経過し、設備の更新時期を迎え、建物の老朽化も進行している西スタンド棟の改修を行うものである。

また、年間20万人以上の来場者の安全の確保はもとより、新たなファン層を開拓するためには、アミューズメント空間へとリニューアルし、魅力的な集客施設としての整備が必要である。

加えて、ボートレース業界では、多くの人が集う、地域にとってかけがえのない場所を目指す「ボートレースパーク化」を推進しており、ボートレース若松の経営戦略に掲げる「親しまれるレース場」の実現に向け、子どもから大人まで幅広い世代を対象にスポーツをテーマとした地域貢献エリアの新設を検討している。

施設整備の財源は、ボートレース事業の収益により令和4年度までに確保できることが見込まれ、税等の一般財源や企業債は予定していない。また、地域貢献エリアの新設にあたっては、遊休スペースとなっている駐車場の一部を有効活用することとしている。

今回の施設整備は、ボートレース事業継続に重要な投資であるとともに、ビッグレースの誘致にもつながり、収益と繰出金の双方に増加効果が見込まれる。

公共事業評価に関する検討会議では、本事業を計画通り進めていくことについて、出席したすべての構成員が「異議はない」との意見であった。ただし、具体的な事業の進行にあたって、留意すべき点が意見として挙げられた。

これらの留意点を踏まえて「市の対応方針（案）」及び「ボートレース若松施設整備事業（案）」について市民意見を募集したところ、反対する意見はなかった。

今後、検討会議で挙げられた留意点としての意見や、市民からの意見も踏まえ、西スタンド棟他の大規模改修と地域貢献エリアの新設に関する検討を進め、事業内容がより具体化された後に、事前評価2を行うこととする。

○公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応

資料2：「公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応」のとおり

○市民意見の概要とその対応

資料3：「提出された市民意見の概要及びこれに対する本市の考え方」のとおり

公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応
(対象事業：ポートレース若松施設整備事業)

	公共事業評価に関する 検討会議での意見	市の対応方針
(1) 施設改修のマネ ジメントについ て	今回の事業に係わらず、施設全体の改修マネジメントの見直しをお願いしたい。	施設を適切に管理するためには、計画的に修繕や改修を行う必要がある。 今後も中長期整備計画を含め、状況に応じて改修マネジメントの見直しを行っていく。
(2) 改修内容につい て	改修にあたって、若松らしさや北九州らしさを出しつつ、収益確保も行えるように検討してほしい。	環境に配慮した北九州らしい魅力ある施設を整備することで、選ばれるレース場を目指すとともに、ランニングコストを抑え、継続的な収益確保ができるような施設改修を検討する。
(3) 施設改修方法に ついて	強風や塩害など厳しいロケーションであることを念頭に、耐久性のある素材や工法等の活用と費用面とのバランスを考えていただきたい。その際、見積りを正確にお願いしたい。	利用者の安全性を確保することが重要であるため、耐久性は必要だが、経済性とのバランスを考慮しながら、今後基本設計を進める中で検討する。
(4) 地域貢献エリア のゾーニングに ついて	安全・安心な施設運営ができるように考慮しつつ、利用者のニーズに合ったエリアとなるように、ゾーニングをしっかりと検討してほしい。	道路や駐車場に面したエリアとなるため、まずは安全に配慮するとともに、ターゲット別マーケティングに基づいた、来場者にとって魅力的で利用しやすい施設となるよう、ゾーニングを検討する。
(5) 施設の多角的な 利用について	既存施設・新設施設について、多角的な利用を検討してほしい。	今後、スポーツをテーマとしたエリアや多世代が交流できる場の検討を進めるにあたり、学びの場や防災施設など多角的な利用方法を検討する。
(6) 市民へのPRに ついて	市民の理解を得るために、防災拠点としての位置付けや、市民の憩いの場であることなどをしっかりとPRする工夫をしてほしい。	ポートレースの収益金や施設が、市民生活に寄与していると分かり易く理解していただけるよう、広報活動に取り組む。

提出された市民意見の概要及びこれに対する本市の考え方
(対象事業：ボートレース若松施設整備事業)

以下に市民意見の概要及び意見に対する市の考え方を次のとおり公表します。

■意見募集期間

令和3年8月23日(月)から令和3年9月21日(火)まで

■意見提出状況

(1) 提出者：13人(電子メール13人)

(2) 提出意見数：56件

1 施設整備に関するもの・・・51件

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
施設老朽化による西スタンド改修及び地域貢献エリア新設の計画を是非実現して欲しい。 新たな遊興施設として、地域活性化の一因になることを期待したい。	多くの人が集う、地域にとってかけがえのない施設となるよう、事業の推進に努めてまいります。	—
ボートレース鳴門にはバスケットコート、温泉施設等が併設されているが、同様の施設と考えているのか。 また、温泉施設は検討されているのか。	施設整備は、各場の地域性なども考慮して検討を行っており、今後、基本設計等を行う中で施設内容について検討いたします。 なお、温泉施設については整備の予定はありません。	今後の参考とする。
入浴施設が欲しい。 アイススケートエリアが欲しい。	整備の予定はありません。	—
女性やファミリーが安心して来られる様、治安や衛生的な環境について積極的に取り組んでほしい。 建物が古く、近寄りがたいイメージが強い。改修後は、外観は明るく、入りやすいイメージにして欲しい。 改修工事中は利用できる場所が少なくなるため、既存ファンが離れない様な配慮が必要。 県外からの来場者も多く見込めるため、北九州らしさを出す工夫をして欲しい。 多くの親子が繰り返し訪れ、のびのびと遊ぶことで学びが深まるような、クオリティの高い文化的空間を提供することで、イメージアップを図ることができる。 地域貢献エリアの事業推進にあたり、子供達や様々な世代の学生などの意見交換の場が欲しい。 子供達が、屋外でのびのび遊び、学びが深まる文化的空間が欲しい。 三輪車や自転車の練習ができるエリア及び自転車や自動車の安全教育ができる場所が欲しい。 自然や四季の花々があり、乳幼児が安全にのんびり過ごせる屋外型のエリアが欲しい。 奥洞海駅前の立地を生かし、高校生などの若者が学べる場や活動できる場所が欲しい。 ペット用の避難所を検討して欲しい。 インラインスケートエリア、キックボードエリアが欲しい。	施設整備を具体化するにあたって、費用対効果、敷地の有効活用、効率的な管理等を総合的に考慮したうえで、基本設計等を進めるにあたり参考といたします。	今後の参考とする。

バスケットボールやサッカーエリアは、必要ない。	<p>施設整備を具体化するにあたって、費用対効果、敷地の有効活用、効率的な管理等を総合的に考慮したうえで、基本設計等を進めるにあたり参考といたします。</p>	<p>今後の参考とする。</p>
地域貢献エリアのデザインは、デザインの専門家の意見を聞いて欲しい。		
小倉競馬場のキッズプラザの様な施設が欲しい。		
小学校高学年が楽しめるポーネルンドの遊び場が欲しい。		
子どもが遊べるサーキット場が欲しい。		
おしゃれな道の駅的な施設を併設して欲しい。		
スケボーのコースが欲しい。		
広い屋外屋根付き多目的スペースが欲しい。		
子どもが創造的に遊べるポーネルンドの屋外遊び場が欲しい。		
安全に遊べる砂場や手足が洗える洗い場が欲しい。		
お絵描きや工作ができる屋内スペースが欲しい。		
綺麗なお手洗い、休憩スペース、カフェが併設されると手ぶらで出かけることができる。		
子供食堂など炊き出し活動ができる設備が欲しい。		
屋内で多世代が運動できるトランポリンエリアが欲しい。		
老若男女が楽しめる工夫、ゾーニングを検討して欲しい。		
スケボー、スポーツクライミング、BMXなど、オリンピック新種目のスポーツが体験できる施設が欲しい。		
キャンプやピクニックをしながら、ゆっくりレース観戦ができるエリアが欲しい。		
ボートやカヌー、サップができるエリアが欲しい。		
屋外で遊べる公園やアスレチックなど、小学生も遊べるような施設がもっと欲しい。		
大学生や高校生など、地域の若者が主体的に活動できる拠点が欲しい。		
木製のアスレチック、ふわふわなどの遊具が欲しい。		
若者や大人、子供たちが一緒に遊べる水遊びゾーンが欲しい。		
シンボルツリー、木登りができる木、日陰ができる樹木などが欲しい。		
防災訓練キャンプ活動ができるエリアが欲しい。		
お年寄りの健康器具は必要。		
スポーツがテーマではなく、集いと憩いをテーマにして欲しい。		
綺麗なトイレなどアクセスしやすい空間、0歳児も一緒に安心して遊びに来れる場所を目標にして欲しい。		

自転車の練習ができる場所が欲しい。	施設整備を具体化するにあたって、費用対効果、敷地の有効活用、効率的な管理等を総合的に考慮したうえで、基本設計等を進めるにあたり参考といたします。	今後の参考とする。
スケートボード、マウンテンバイクのエリアは必要ない。		
築山のある緑地、木陰のある大きな木が必要。		
カヌー、子ども向けのペアカヌー、サップ体験ができるエリアが欲しい。		
定期的に内容が変わるお仕事体験できるような、学びにつながるコンテンツを有する施設が欲しい。		
キッチンカーが入るといい。	常設としては難しいと考えますが、イベントなどの実施で検討いたします。	—
子ども祭り、火おこしなど、火育活動ができるエリアを整備し、防災拠点としての機能も發揮して欲しい。		

2 事業の費用に関するもの・・・1件

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
採算性を精査し、一般会計からの繰出金のない整備規模・計画を入念に検討し進めていただきたい。	事業費財源は、令和4年度までの事業収益を積み立てて確保することとしているため、一般会計からの繰出金は発生しません。	基本計画に反映済み。

3 工事に関するもの・・・1件

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
長期間の改修工事であるため、近隣の住民にも配慮願いたい。	工事に係る騒音対策や安全性の確保など、十分に配慮して進めてまいります。	—

4 運営に関するもの・・・3件

意見の概要	本市の考え方	方針・計画への反映
地元選手を応援することは観戦のモチベーションになり、ボートレースファンのすそ野を広げることにもつながると思うので、地元選手の情報を紹介する写真入りパネルを設置してはどうか。	地元の選手を知っていただくことは、地元の子どもたちがボートレーサーを目指すきっかけにもなると考えていますので、地元選手の紹介コーナーの設置について検討いたします。	今後の参考とする。
小倉駅、戸畑駅、黒崎駅などから無料バスが運行されているが、車両が古く、乗り心地も良くないため、観光バスタイプの車両へ変更して欲しい。	費用対効果を考えると早急に観光バスタイプへ変更することは難しいですが、施設改修により新たな来場者にとっても来場しやすいアクセス方法等を検討いたします。	今後の参考とする。
レース場に足を運んでもらうためには、ボートレースそのものの面白さを伝える必要がある。そのため初心者向けにレースの楽しみ方や予想の方法、投票券の購入方法などをわかりやすく解説するWebコンテンツを制作してはどうか。	来場者を増やすためには新規ファンの獲得が重要であると認識していますので、今後もさまざまな方法で初心者向けの情報発信に取り組んでまいります。	今後の参考とする。